

事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名	市内産農畜産物6次産業化推進事業
事業開始年度	平成24年度
根拠法令	なし
行政計画上の位置づけ	なし
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に 学校給食用に生産した玉ねぎの規格外品について、有効利用を図るため加工品として開発を図った。(22年度農商工連携推進事業として開始、26年度事業名変更)

所管課名	農林水産局	総務部	政策企画課
基本	施策コード	主 6-4-1	再
分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている		
施策	農林水産業とその関連ビジネスの振興		
事業群	経営の充実強化、新たな担い手づくり		

施策成果指標	
--------	--

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか 農業者 中小企業経営者	対象をどのような状態にしたいのか 6次産業化に取り組み、新たな商品開発を行う。

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法を何を行ったのか				
実施手法	☐ 委託含む	☐ 補助金含む	☒ 負担金含む	
・福岡市6次産業化推進プロジェクト会議(福岡市・市内JAで構成)への負担金 ・市内で生産される農畜産物を原料とした新商品の研究・開発及び販路拡大に取り組む事業について、試作品材料の提供、イベント等での販売促進活動、加工機械の補助など支援を行った。				

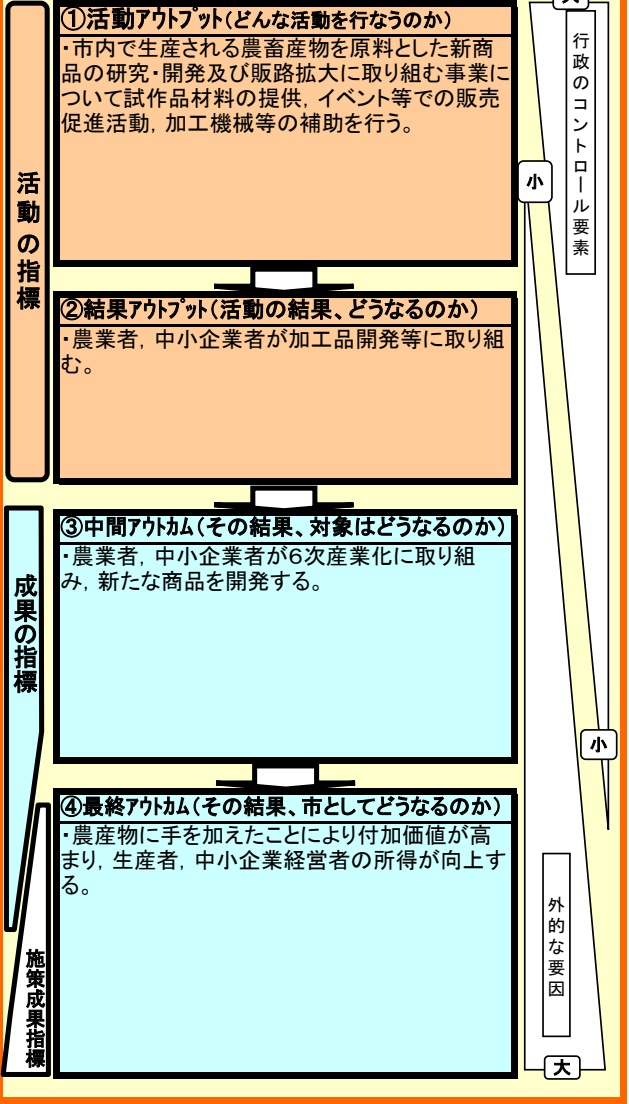
事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	1,037	1,802	3,896
	歳入			
	特定財源			
	一般財源	1,037	1,802	3,896

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	新商品の開発に取り組む事業者等の数	目標	2	2	年度
		実績	4		
		達成率	200.0%		
		目標			年度
		実績			
		達成率			
(成果の指標)	市内産農畜産物6次産業化推進事業等により開発・販売した加工品	目標	-	2	年度
		実績	-		
		達成率			
			100.0%		
		目標			年度
		実績			
		達成率			

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう



事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名	福岡産花き海外プロモーション事業
事業開始年度	平成26年度
根拠法令	なし
行政計画上の位置づけ	なし
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に 花きの需要が減少し価格が低迷する中で市内花き農家の経営安定を図るため、販路拡大、ブランド化の一つの方策として県花卉農協より事業提案があったもの。

所管課名		農林水産局		総務部		政策企画課	
基本 計画	施策コード	主 6-4-1	再				
	分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている					
	施策	農林水産業とその関連ビジネスの振興					
	事業群	経営の充実強化、新たな担い手づくり					

施策成果指標	
--------	--

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか 農業者	対象をどのような状態にしたいのか 海外での取引が行われる。

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか				
実施手法	☒ 委託含む	☐ 補助金含む	☐ 負担金含む	
プロモーション活動(H27.12月・H28.3月実施) 平成26年度調査をもとに、海外適地(香港を想定)において出展を行い、現地バイヤー、消費者等に直接製品の良さをPRする。				
事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	4,415	2,239	3,092
	歳入			
	特定財源			
	一般財源	4,415	2,239	3,092

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	海外プロモーションの実施	目標	1	2	年度
		実績	1	2	
		達成率	100.0%	100.0%	
		目標			年度
		実績			
		達成率			
(成果の指標)	香港での市内産花卉の年間受注本数	目標	-	2,800	年度
		実績		2,800	
		達成率		100.0%	
		目標			年度
		実績			
		達成率			

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう

活動の指標	①活動アウトプット(どんな活動を行なうのか)	行政のコントロール要素	大
	・海外において花きのプロモーション活動を行う。		小
	②結果アウトプット(活動の結果、どうなるのか)		
	・市内産花きの認知度が向上し、需要が高まる。		
成果の指標	③中間アウトカム(その結果、対象はどうなるのか)	外的な要因	小
	・海外での取引が行われる。		
	④最終アウトカム(その結果、市としてどうなるのか)		
	・海外輸出により販路が拡大し、農業者の所得が向上する。		大

事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名	ふくおか農業塾事業
事業開始年度	平成21年度
根拠法令	なし
行政計画上の位置づけ	農林水産業とその関連ビジネスの振興
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に 農業従事者の高齢化や、後継者不足を背景に、農業生産が行われない耕作放棄地が増加しており、耕作を放棄され数年経つと、農地の原型を失うほどに荒れてしまうため、農地を管理していく対策が必要であった。

所管課名	農林水産局	農林部	農業振興課
基本	施策コード	主 6-4-1	再
分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている		
計画	施策	農林水産業とその関連ビジネスの振興	
画	事業群	経営の充実強化、新たな担い手づくり	

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか 新規就農を目指す市民	対象をどのような状態にしたいのか 市内の休耕地等を活用し、小規模の新規就農者となる。

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか

実施手法	☐ 委託含む	☐ 補助金含む	☒ 負担金含む
平成27年4月より、第4期受講生の募集を行い、説明会、面接会の開催を経て、7月より第4期ふくおか農業塾を開講した。 JAファーム福岡にて、以下の講座を実施した。 <講座内容> ・農業の基礎知識(栽培技術、肥料・農薬の使用など) ・農業用機械の操作(トラクター、耕運機、草刈機) ・土づくり、栽培管理、収穫など ・卒業生のほ場見学など ・直売所、イベントでの販売実習 (出荷調整作業、消費者ニーズの把握等)			

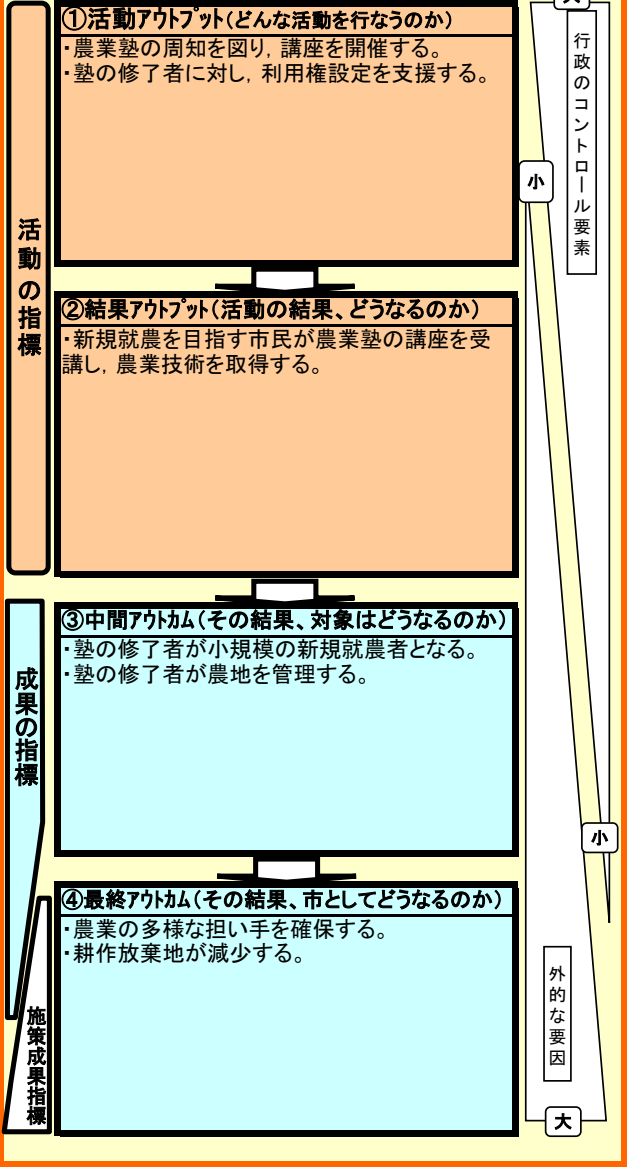
事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	700	500	500
	歳入			
	特定財源			
	一般財源	700	500	500

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	農業塾の受講者数	目標 15	10	9	年度
		実績 12	9		
		達成率 80.0%	90.0%		
	農業塾の開催日数	目標 38	20	27	年度
		実績 38	20		
		達成率 100.0%	100.0%		
(成果の指標) KPI	小規模新規就農者数	目標 12	0	9	年度
		実績 9	0		
		達成率 75.0%			
	就農者の総耕作面積	目標 20,000	0	9,000	年度
		実績 9,601	0		
		達成率 48.0%			

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう



事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名	農業インターンシップ事業
事業開始年度	平成22年度
根拠法令	なし
行政計画上の位置づけ	なし
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に 農業従事者の高齢化や後継者不足が進む中、農業外からの新規参入を図るため、農業後継者から直接指導を受ける形での農業研修を実施することで就農を支援し、農業の担い手を確保・育成するため。

所管課名	農林水産局	農林部	農業振興課
施策コード	主 6-4-1	再	
分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている		
施策	農林水産業とその関連ビジネスの振興		
事業群	経営の充実強化、新たな担い手づくり		
施策成果指標			

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか 就農希望者	対象をどのような状態にしたいのか 本市において新規就農者となる。

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか				
実施手法	☐ 委託含む	☐ 補助金含む	☒ 負担金含む	
説明会、面接会を実施後、研修生5名を決定し研修を開始した。 研修期間:H27.6~H28.3 研修先:東区(2名)西区・早良区(3名) 期間:30日~60日程度 講義4回(先進農家の視察、農業、農業経営について等)				
事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	1,430	1,380	1,325
	歳入			
	特定財源			
	一般財源	1,430	1,380	1,325

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	研修生数	目標	5	4	年度
		実績	4	5	
		達成率	80.0%	125.0%	
		目標			年度
		実績			
		達成率			
(成果の指標)	研修生から新規就農へ結びついた人数	目標	1	1	年度
		実績	0	3	
		達成率	0.0%	300.0%	
		目標			年度
		実績			
		達成率			

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう

活動の指標	①活動アウトプット(どんな活動を行なうのか)	大
	・研修生を募集、説明会を開催 面接により研修生を決定、受け入れ農家を調整	行政のコントロール要素
	②結果アウトプット(活動の結果、どうなるのか)	小
	・研修開始 (研修受け入れ農家より直接研修を受け入れる形で行う。)	
成果の指標	③中間アウトカム(その結果、対象はどうなるのか)	小
	・研修を通して農業経営のノウハウや技術を学び、新規就農者となる。	
	④最終アウトカム(その結果、市としてどうなるのか)	大
	・農業外からの新規参入を支援し、農業の担い手を確保できる。	外的な要因

事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名		水産業ブランド創出事業	所管課名	農林水産局	水産部	水産振興課					
事業開始年度		平成26年度	基本 計 画	施策コード	主	6-4-1	再	5-1-2			
根拠法令		なし		分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている						
行政計画上の位置づけ		なし		施策	農林水産業とその関連ビジネスの振興						
				事業群	経営の充実強化、新たな担い手づくり						
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に 市内水産業は、漁業収入の減少や後継者不足が続いており、水産物のブランド化や国内外への販路開拓により水産業への魅力を生み出す必要があるため。		施策成果指標								

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか 福岡市沿岸漁業者 (福岡市漁業協同組合)	対象をどのような状態にしたいのか 水産業生産者が、一次産品とその加工品、さらには付加されたサービスの企画・生産・加工・サービス提供を進め、ブランド化や国内外の販路拡大に取り組む。

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか

実施手法	☒ 委託含む	☐ 補助金含む	☐ 負担金含む
○販路拡大とブランド化へ向けた取組 ・香港・マカオでアサリプロモーション活動を実施 ・香港の有名シェフを招聘し、本市水産物のPRを実施 ・香港の飲食店及び大学にて唐泊恵比須カキ・アサリのPRを実施 ・唐泊恵比須カキ等のPR活動を東京都浅草、神奈川県川崎で実施 ・東京で開催された「東京ハーヴェスト」に参加し、本市一次産品の加工品等のPR活動を実施 ・東京で開催された「ふるさと納税フェスタ」に参加し、唐泊恵比須カキのPRを実施 ・ベトナムで水産物流通可能性調査を実施 ○養殖新技術の導入、確立 ・カキのシングルシード養殖新技術推進事業を実施 ・アサリ種苗の洋上での試験養殖を継続実施			

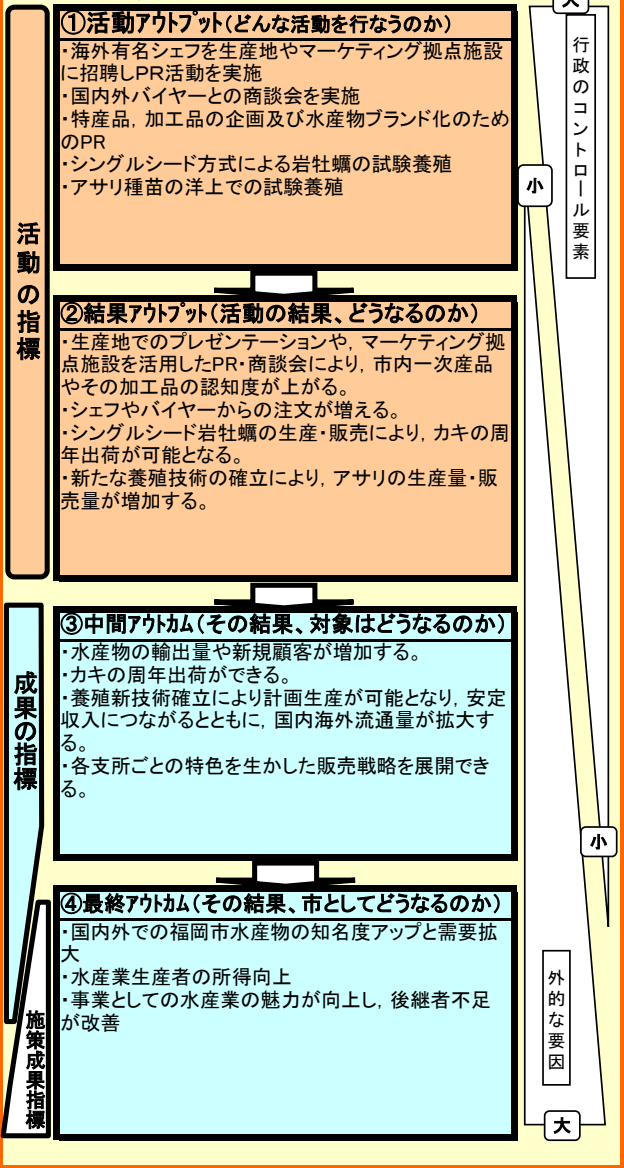
事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	23,461	8,000	10,560
	歳入			
	特定財源			
	一般財源	23,461	8,000	10,560

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	海外シェフやバイヤーの招へいと直接商談回数	目標	2	2	28年度
		実績	3	3	
		達成率	150.0%	150.0%	
		目標			年度
		実績			
		達成率			
(成果の指標)	水産物の輸出量(マカキ・イワガキ)(単位:トン)	目標	1.0	1.0	年度
		実績	1.4	1.2	
		達成率	140.0%	120.0%	
		目標			年度
		実績			
		達成率			

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう



事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名	鮮魚市場活性化事業(東アジア流通促進事業)
事業開始年度	平成20年度
根拠法令	なし
行政計画上の位置づけ	なし
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に 鮮魚市場では、韓国・中国など東アジアに近く、生鮮水産物も多数入荷しているので、平成20年度に市場関係者で「福岡市鮮魚市場・東アジア流通促進協議会」を組織し、平成21年には釜山広域市国際水産物卸売市場と姉妹市場を締結し、両市場関係者による取引の実現に向けて交流事業等に取り組み、市場の活性化を図る。

所管課名		農林水産局		中央卸売市場		鮮魚市場	
基本 計画	施策コード	主 6-4-2	再				
	分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている					
	施策	農林水産業とその関連ビジネスの振興					
	事業群	市場機能の強化					

施策成果指標	
--------	--

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか 市場関係者、 釜山広域市国際水産物卸 売市場	対象をどのような状態にしたいのか 韓国との水産貿易の円滑化・効率化を図ると ともに、姉妹市場を締結した釜山広域市国際水産 物卸売市場との交流などに取り組む。

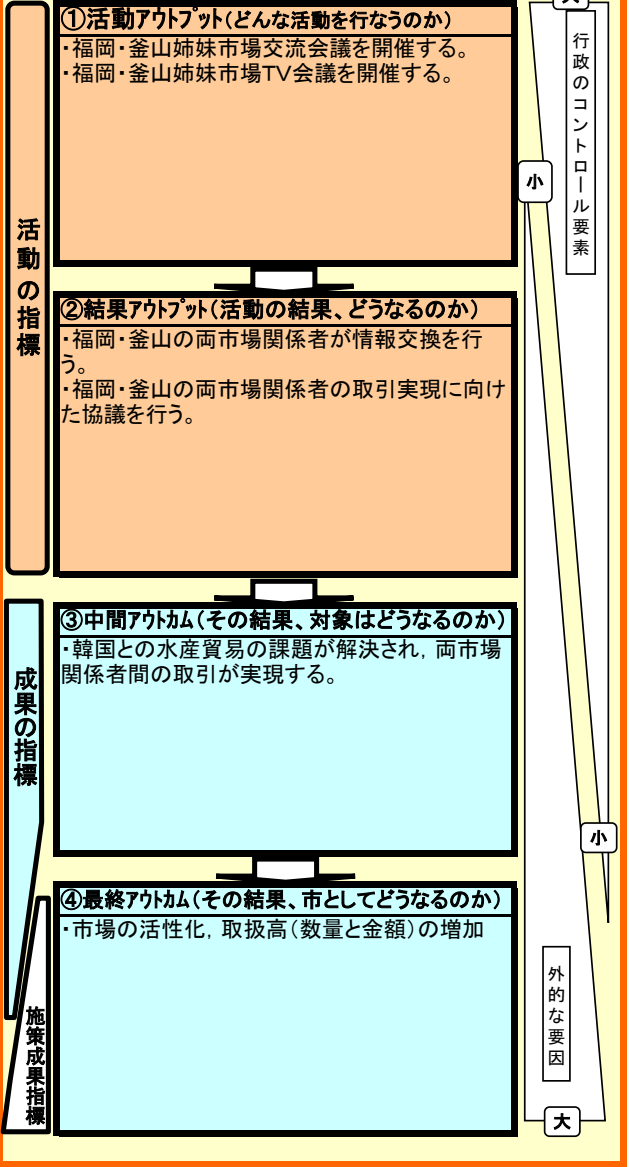
27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか				
実施手法	☐ 委託含む	☐ 補助金含む	☒ 負担金含む	
○市場関係者と開設者の福岡市で「福岡市鮮魚市場・東アジア流通促進協議会」を組織し、東アジアの中でも特に韓国との水産貿易を拡大するため、「福岡・釜山姉妹市場交流事業」に取り組んでおり、平成27年11月に釜山広域市から福岡へ訪問され、両市場の取扱状況等について情報交換を行った。 ・福岡・釜山姉妹市場関係者協議 1回				
事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	0	0	0
	歳入			
	特定財源	0	0	0
	一般財源	0	0	0

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績		目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度
活動の指標	福岡・釜山姉妹市場関係者協議	目標	1	1	年度
		実績	2	1	
		達成率	200.0%	100.0%	
				1	
(成果の指標)	釜山姉妹市場との水産貿易の実現	目標			年度
		実績	取引の実現	取引の実現	
		達成率	0.0%	0.0%	
			実現せず	実現せず	
				取引の実現	
					年度

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう



事務事業マネジメントシート(平成27年度実施分)

事業名	鮮魚市場活性化事業(市場開放事業)
事業開始年度	平成21年度
根拠法令	なし
行政計画上の位置づけ	なし
背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か ※できるだけ具体的に 鮮魚市場では、市場外流通や魚離れが進行するなどにより年々取扱数量が減少していることから、市場の魅力を外内に発信することにより、魚食普及の推進及び水産物の消費拡大を図る必要があるもの。

	所管課名	農林水産局	中央卸売市場	鮮魚市場		
基本計画	施策コード	主 6-4-2	再			
	分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている				
	施策	農林水産業とその関連ビジネスの振興				
	事業群	市場機能の強化				

施策成果指標	
--------	--

【事業概要】

対 象	目 的
誰(何)を対象として行なうのか 一般市民(特に魚離れが進んでいる世代(子ども、若い世代))	対象をどのような状態にしたいのか 魚離れが進んでいる世代に対し、市民感謝デーを通じて、魚を身近に感じてもらうことで、魚食普及の推進及び水産物の消費拡大に結びつけたい。

27年度事業実施内容(手段)目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか

実施手法	☐ 委託含む	☐ 補助金含む	☒ 負担金含む
鮮魚市場関係者と開設者(福岡市)で構成する魚食普及を目的とした団体「福岡魚食普及推進協議会」主催により、市民に鮮魚市場を直に見てもらい、魚食への関心を高めて、魚食普及の推進及び水産物の消費拡大を図るため、毎月第2土曜日に市場の一部(仲卸売場棟)を開放する市場開放事業(市民感謝デー)等に取り組んだ。			
平成27年度実績 毎月第2土曜日(年12回開催) 来場者数 116,000人			

事業費 (千円)	年度	26年度決算額	27年度決算見込額	28年度予算額
	歳出合計	13,546	12,732	12,096
	歳入 特定財源	0	0	0
	歳入 一般財源	13,546	12,732	12,096

【活動・成果指標の達成度】

区分	指標の内容	実 績			目 標	
		26年度	27年度	28年度	最終年度	
活動の指標	市民感謝デー開催日数	目標	12	12	12	年度
		実績	12	12		
		達成率	100.0%	100.0%		
	長浜鮮魚市場ホームページへのアクセス数(件)	目標	63,000	64,500	66,000	年度
		実績	53,683	115,862		
		達成率	85.2%	179.6%		
(成果の指標)	市民感謝デー来場者数	目標	120,000	120,000	120,000	年度
		実績	119,000	116,000		
		達成率	99.2%	96.7%		
	来場者の魚食頻度の割合(週に3回以上)	目標	71.0%	72.0%	73.0%	年度
		実績	63.4%	65.5%		
		達成率	89.3%	91.0%		

ロジックモデル作成用のテーブル

最終的な成果に到達するまでの行程を書き出してみよう

